

## 「成功の実現」のための塾生 8 か条

— 「全塾生、第 1 志望校合格」「全塾生、学校成績大幅アップ」「全塾生、3 大検定合格」のために—

開倫塾

塾長 林明夫

Q : 開倫塾は、どのような学習塾ですか。

A : (1)1979 年創立の「本格的進学塾」です。今年が創立 40 周年です。

(2)「本格的進学塾」として、開倫塾は創業以来、次の 3 つと真正面から取り組んでいます。

①「全塾生、第 1 志望校合格」

②「全塾生、学校成績大幅アップ」

③「全塾生、3 大検定合格」

(3)これらを成し遂げ、「塾生の成功の実現」と「地域の教育力向上」に貢献することが、開倫塾の「社会的使命(ミッション)」です。

Q 1 : では、お聞きします。「第 1 志望校合格」「学校成績大幅アップ」のためにはどうしたらよいのですか。

A : (1)第 1 は、「第 1 志望校」を自分の力で明確にすることです。

(2)そのためには、社会のために何がしたいのか、どのような生き方をしたいのか、どのような仕事や社会的な活動がしたいのかを考えること。何のために進学をするのか、進学をしたら何を学びたいのかを自分の力で考えることです。

(3)その上で、「第 1 志望校」を自分の力で決定し、「明確」にすることが、何よりも大事です。

Q 2 : 2 番目にしなければならないことは何ですか。

A : 「受験生としての自覚」を持つことです。自分で決めた「第 1 志望校」を受験し、合格するという「受験生としての自覚」を 1 日も早く持つことです。

Q 3 : 3 番目は何ですか。

A : 受験教科のすべてを万遍(まんべん)なく学ぶこと。受験教科のすべてを開倫塾の通常授業で学ぶことです。春期講習、夏期講習、土ゼミ、日ゼミ、冬期講習、正月特訓、受験直前特訓などすべてのプログラムに参加することです。

Q 4 : 4 番目は何ですか。

A : 「効果の上がる学習方法」を身に着けることです。開倫塾の「学習の 3 段階理論」は、40 年間の経験に基づいてまとめ上げた「効果の上がる学習方法」です。学習を「理解」、「定着」、

「応用」の3段階に分け、わかりやすく、具体的に示したものです。必ず役立ちますので、いつも読み返して身に付けてくださいね。

**Q 5 : 5 番目は何か。**

A : 「自分で学ぶ力」、「自己学習能力」を身に着けることです。勉強は授業を聞くだけでは十分な効果が上がりません。自分の力で学ぶことが大切です。勉強は、人からいわれるからやるのではなく、「自分から進んで学ぶ力」、「主体的に学ぶ力」、「自己学習能力」を身に着けることが大切です。

**Q 6 : 6 番目は何か。**

A : (1)開倫塾の「自己学習スペース」で、「長時間自己学習」に励むことです。  
(2)開倫塾では校長先生が許可した場合には、「塾生」の皆様が「自己学習スペース」を利用し、夕方から夜10時まで「長時間自己学習」をすることができます。  
\*受験学年だけでなく、非受験学年の塾生の皆様も大いに利用してくださいね。  
(3)ただし、スマホやゲーム、おしゃべりや飲食、居眠りなど、勉強以外のことは一切禁止です。

**Q 7 : 7 番目は何か。**

A : (1)「辞書」、「新聞」、「読書」により、「読解力」を身に着けることです。  
(2)わからないことがあったら、「気持ちが悪い」と思い、必ず「辞書」を用いて調べること。「新聞」と「本」は毎日30分以上ずつ読むことが、偏差値アップ、学校成績アップに直結します。  
(3)「辞書」をよく引き、「新聞」と「本」を毎日30分以上読み続けることは、すべての教科、すべての試験の前提となる「読解力」を身に着けるのに最も役立ちます。

**Q 8 : 8 番目は何か。**

A : (1)「全塾生、3大検定合格」を果たすことです。「3大検定合格」は、「第1志望校合格」と「学校成績大幅アップ」に直結します。  
(2)受験学年は、1学期に英語検定、2学期に漢字検定と数学検定を全塾生が受験します。  
\*私立中学校入試、中高一貫校入試の受験生は、1学期に3大検定すべてにチャレンジを。  
(3)非受験学年は、1学期に漢字検定、2学期に英語検定、3学期に算数・数学検定を受験します。  
\*開倫塾は「全塾生、3大検定合格」に向け、全校舎を挙げて全力で指導します。

**Q : 最後に一言どうぞ。**

A : 2019年度も開倫塾は「本格的進学塾」として、「全塾生、第1志望校合格」「全塾生、学校成績大幅アップ」「全塾生、3大検定合格」を果たし、「塾生の皆様の成功の実現」と「地域の教育力向上」のために全力を尽くします。どうか、開倫塾を十分に活用して、自分の未来を自分の力で切り開いてください。